科目名	実習・演習2 (ラジオスタッフ専攻) ①						年度	2025	
英語科目名	Training and exercises 2						学期	後期	
学科・学年	音響芸術科 ラジオスタッフ専攻 1年次	必/選	必	時間数	90	単位数	3	種別※	実習
担当教員	飯村聖美	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ラジオディレクター		
【科目の目的】 スタジオシステムを理解し、作品づくりに向けた基本操作を習得する。									
【科目の概要】 生放送に必要なスタジオ技術を習得し、基本的な番組の制作の流れを学習します。企画、構成、リサーチ、サウンドステッカーと台本作成、選曲、Auditionを使った編集と素材作り、サンプラーなどを使った音演出、外部への取材、動画サイトやSNSへの配信なども行います。									
【到達目標】 A. 番組の企画・制作・台本作りができるようになる B. 録音・配信などのエンジニアリングの工程ができるようになる C. ディレクターとして番組を演出し、チームをリードしながらプログラムされた時間によって番組を遂行できるようになる									
【授業の注意点】 各自で実習専用のメモ帳、筆記用具、ヘッドフォン、記録メディアを用意すること。この講義は演習と連動した科目である。実際のスタジオワークの手順、ミキサー卓の操作などを理論立てて理解し、実習を効率よく実施するための予備知識や復習となる。項目によっては班ごとに順番を入れ替えることもある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	魅力的な企画アイデアの提案と素材作り、台本作成ができる	企画アイデアの提案と素材作り、台本作成ができる	企画アイデアを提案し、それに基づいた素材が作れる	何らかの形で企画案を伝えることができる	企画案を言葉やテキストで表現できず、提案できない				
到達目標 B	スタジオの録音システムを理解し、配信を含めたエンジニアリングが一人でできる	スタジオの録音システムを理解し、配信を含めたエンジニアリングが協力してできる	スタジオの録音システムを理解し、配信を含めたエンジニアリングが時間をかけ協力のもとできる	スタジオの録音システムの概要なら理解している	スタジオの録音システムが理解できない				
到達目標 C	ディレクターとして番組を魅力的に演出し、チームをリードしながらプログラムされた時間によって番組を遂行できる	ディレクターとして番組を演出し、チームをリードしながらプログラムされた時間によって番組を遂行できる	ディレクターとして番組を演出し、プログラムされた時間によって番組を遂行できる	ディレクターとして番組の演出はできないが時間通り番組を遂行できる	ディレクターとして番組を演出できず、番組の時間概念がない				
【教科書】 適宜プリント配布									
【参考資料】 講師制作コンテンツ (番組)									
【成績の評価方法・評価基準】 ルーブリックに基づく評価を行う。評価方法は主にグレード試験と提出物で行う。また補足的にレポート評価を行う場合もある。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		実習・演習2 (ラジオスタッフ専攻) ①			年度	2025
英語表記		Training and exercises 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	生放送のショートプログラムを企画	魅力的な番組を制作するために必要な視点を考える	1 スタジオセットアップ	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 放送局の仕組み解説	キー局とネット局など放送に関する仕組みと時間を理解		
			3 ワークショップ	トークテーマのワークショップ		
2	生放送のショートプログラム企画のブレインストーミング	番組の要となるテーマを熟考し具現化する	1 スタジオセットアップ	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 番組テーマ	番組テーマのブレインストーミング		
			3 選曲	番組テーマに沿った選曲		
3	生放送のショートプログラムの準備	計画的に番組内容を時間配分をして必要な素材を準備する	1 スタジオセットアップ	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 リスナーメールの作成	リスナーの視点に立ち、番組概念を理解する		
			3 台本・CUEシートの作成	生放送に必要な台本・CUEシートなどを作成		
4	生放送のショートプログラムの実践	QUEシートに沿った番組の準備と生放送の各アクションを時間厳守で遂行する	1 スタジオセットアップ	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 演出に基づく素材作り	演出に準じた効果音等の素材を作り、サンプラーから送出		
			3 本番	タイムキーピング厳守で生放送形態の本番を遂行		
5	制作した番組の検聴とQUEシートの仕上げ	アシスタントディレクターに必要な大前提のスキルを習得	1 スタジオセットアップ	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 検聴	第三者の視点で放送に相応しい内容が検聴する		
			3 QUEシート仕上げ	プログラムに準じたタイミングと照合しQUEシートを作成		
6	エンゲージメントを意識した番組を長期的に企画	リサーチに時間をかけ、エンゲージメントの質の高い番組を企画する	1 スタジオセットアップ	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 課題提起	社会問題や身の回りの課題を提起する		
			3 ブレインストーミング	具現化へのアプローチ方法をブレインストーミング		
7	番組企画のための調査実施	オンラインによるアンケート調査	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 アンケート項目の作成	オンラインによるアンケートの各項目の提案		
			3 アンケートフォーム作成	アンケートフォームを作成し実施を依頼		
8	25分の生放送番組①の企画	シーズナリティやトレンドに追従した番組の企画	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 企画の提案	シーズナリティやトレンドを意識した企画の提案		
			3 方法論の提案	選曲やコーナー企画、演出などの提案		
9	25分の生放送番組①の素材作り	シーズナリティやトレンドに追従した番組の素材作成	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 素材準備	演出に必要な素材や構成台本の作成、SNSでの展開		
			3 QUEシートの作成	番組構成に沿ったQUEシートの作成		
10	25分の生放送番組①の実践	シーズナリティやトレンドに追従した番組を生放送形式で遂行する	1 スタジオセッティング	コンソールを使用したスタジオセッティング	3	
			2 生放送番組準備仕上げ	演出に準じた音素材の制作、SNSとの連動		
			3 本番	タイムキーピング厳守で生放送形態の本番を遂行		
11	アンケート調査に基づく番組の企画	調査に基づきエンゲージメントの質の高い番組の企画	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 アンケート回収と分析	回収したアンケート回答をもとに番組の視点を定める		
			3 街頭インタビュー準備	街頭インタビュー質問事項のリスト化		
12	街頭インタビュー	コミュニケーションを意識した街頭インタビューと編集	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 街頭インタビュー	役割を分担して街頭インタビューをする		
			3 コメント編集	Auditionを使った街頭インタビューのコメント編集		
13	25分の生放送番組②企画	アンケート調査に基づいた番組を構成	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 構成の考案	アンケート回答や街頭インタビューを活かした構成を考える		
			3 ブレインストーミング	構成や演出のブレインストーミング		
14	25分の生放送番組②の素材作り	番組の素材作りと台本作成	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 選曲 台本作成	番組企画に沿った選曲や台本を作成		
			3 素材作り	番組企画に沿った音素材の制作、SNSでの展開		
15	25分の生放送番組②実践	エンゲージメントを意識した番組を生放送形式で遂行する	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 生放送番組準備仕上げ	演出に準じた音素材の制作、SNSとの連動		
			3 本番	後期授業の集大成として番組を生放送形式で遂行		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	実習・演習2 (ラジオスタッフ専攻) ②						年度	2025	
英語科目名	Training and exercises 2						学期	後期	
学科・学年	音響芸術科 ラジオスタッフ専攻 1年次	必/選	必	時間数	180	単位数	6	種別※	実習
担当教員	飯村聖美	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ラジオディレクター		
【科目の目的】 スタジオシステムを理解し、作品づくりに向けた基本操作を習得した上で、よりクリエイティブな番組制作を心がける									
【科目の概要】 ラジオ番組の基本的な企画制作・技術のスキル習得に加えて、よりクリエイティブな発想の番組を企画制作する 実験的な番組企画やオリジナルCMをはじめとするビジネスを意識したコンテンツを作る									
【到達目標】 A. 基本的な番組制作ができる B. ビジネスに結びつくコンテンツの制作ができる C. クリエイティブな発想を具現化した番組制作ができる									
【授業の注意点】 各自で実習専用のメモ帳、筆記用具、ヘッドフォン、記録メディアを用意すること。この講義は実習と演習が連動した科目である。項目によっては班ごとに順番を入れ替えることもある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	企画構成、台本、サウンドステッカーの作成、録音、プロ用音源再生機の扱い、ディレクションができる	企画構成、台本、サウンドステッカーの作成、録音、プロ用音源再生機の扱いができる	企画構成、サウンドステッカーの作成、録音、プロ用音源再生機の扱いができる	スタジオの機材が扱えるが企画ができない	スタジオの機材が扱えず企画ができない				
到達目標 B	チームをリードしながらクライアントが求めるもので且つリスナーに魅力的なコンテンツを制作できる	クライアントが求めるもので且つリスナーに魅力的なコンテンツの制作ができる	クライアントが求めるコンテンツの制作ができる	クライアントの視点でアイデアを出すことができるが具現化できない	クライアントが何を求めているか理解できない				
到達目標 C	クリエイティブな発想の企画概要と意図をチームに理解浸透させオリジナリティ溢れる番組の制作ができる	クリエイティブな発想の企画をチームに理解させ、番組の制作ができる	クリエイティブな発想の企画に基づいた番組の制作ができる	番組企画のアイデアはあるが具現化できない	番組企画のアイデアをみつけられない				
【教科書】 適宜プリント配布									
【参考資料】 講師制作番組ほか									
【成績の評価方法・評価基準】 ルーブリックに基づく評価を行う。評価方法は主にグレード試験と提出物で行う。また補足的にレポート評価を行う場合もある。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

課題提出・実習への参加		実習・演習2 (ラジオスタッフ専攻) ②			年度	2025
英語表記		Training and exercises 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ポータブル録音機を使用した外録	個々の聴覚を最大限に活用し、音の文脈をとらえる	1 番組視聴と解説	番組やコンテンツにおける音の効果を理解する	3	
			2 外録の説明と実践	サンプリングレートを理解し一人で外録ができる		
			3 オンライン搬入	外部メディアへのデータ移動とオンライン搬入ができる		
2	音に焦点を当てた番組の企画	ラジオ番組を企画する際の発想の視点のみつける	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 既存番組企画の解説	試聴した番組のカテゴリと企画構成を理解する		
			3 実際に企画する	個々に企画を考える		
3	簡易企画書の作成とプレゼンテーション	リスナーターゲットを明確にした企画を考える	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 簡易企画書の作成	自身の発想やアイデアをテキスト化する		
			3 企画発表	プレゼンテーションに慣れる		
4	オリジナルラジオCMの企画	ビジネス展開を意識したラジオCMの企画	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 ラジオCM視聴と解説	各ラジオCMの意図を理解する		
			3 ラジオCM簡易企画書と台本作成	ラジオCMの簡易企画書と台本の作成		
5	オリジナルラジオCMの制作	ほぼ全ての音源をオリジナルとし、ラジオCMの完全パッケージを制作	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 効果音、ナレーション収録	演出を考えながら収録ができる		
			3 Audition解説と編集	Auditionを使った編集と完パケができる		
6	音に焦点を当てた番組企画の展開	企画の展開を考察	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 企画会議	既存の企画の展開を考えられる		
			3 番組構成を考える	演出を考慮した番組構成を考えられる		
7	音に焦点を当てた番組の制作	自由な発想から番組として具現化するアプローチを探る	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 素材作り	選曲、台本の作成、音源の編集など素材作り		
			3 本番	演出に配慮し計画されたタイムに沿って番組を遂行		
8	コーナー企画の発案	ワイド番組のコーナーを想定して企画を考える	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 企画提案	実験的なコーナー企画を考える		
			3 プレーンストーミング	具体的な演出方法のプレーンストーミング		
9	コーナー企画制作準備	コーナー企画の素材を作る	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 素材作り	Auditionを使って番組の演出に準じた音源素材を作る		
			3 台本作成と選曲	番組企画に追従した台本を作り、選曲をする		
10	コーナー企画実践	生放送形態でコーナー企画を実践	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 打合せ	本番前の素材と番組内容のチェック		
			3 本番	企画と演出に配慮し計画されたタイムに沿って番組を遂行		
11	「1分のラジオドラマ」を企画	楽曲の世界観をイメージしたショートドラマを企画	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 選曲	ショートドラマを想定した選曲会議での提案		
			3 物語の設定を考える	物語の設定をプレーンストーミング		
12	「1分のラジオドラマ」の構成	台本や素材を作成	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 台本作成	各自脚本を作成		
			3 効果音収録	ドラマに合った効果音を準備		
13	「1分のラジオドラマ」の収録準備	ゲスト収録のシミュレーション	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 ナレーション収録	ナレーション収録のシミュレーション		
			3 本番収録の準備	控室、ケータリングの準備から出演者の案内まで担当を決めて準備		
14	「1分のラジオドラマ」のナレーションと効果音収録	スタジオでナレーションと効果音を収録	1 スタジオセッティング	ミキサー卓を使用したスタジオセッティング	3	
			2 ナレーション収録	プロの声優または俳優でナレーション収録		
15	「1分のラジオドラマ」編集・完パケ	一人一作品のショートドラマを作り上げる	1 編集	Auditionを使用した編集	3	
			2 完パケ	Auditionを使用し完全パッケージを制作		
			3 試聴会	試聴会にて自他の作品の批評		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等